

# 2013 Interim Business Report

第12期中間ビジネスレポート

2012年4月1日 » 2012年9月30日



証券コード：3793

株式会社ドリコム  
<http://www.drecom.co.jp/>

# 社長インタビュー



代表取締役社長  
内藤 裕紀

## 事業の状況について教えてください

2013年3月期の上期につきましては、前期に築いた事業構造を引き継ぎ、「ソーシャル」を軸に「ゲーム」、「広告」、「教育」といった3つの領域に向けサービスを展開して参りました。これまでであったサービスに「ソーシャル」という概念を取り入れることで、同じ興味や目的を持った人とのつながりが生まれ、新しい価値を付け加えることができるかと期待して、サービスを提供しています。

この上期には、「ソーシャル」×「教育」領域で提供中のアプリ「聞いて育てる英会話 えいたま」で解かれた問題数が累計1億問を突破し、「ソーシャル」という概念がもたらす価値を実感できました。「教育」というサービスに「ソーシャル」の概念を取り入れたことが、ユーザー様の継続利用につながった結果だと考えています。

それぞれの事業の状況と致しましては、「ソーシャル」×「ゲーム」領域では、今期を攻めるタイミングと見て体制強化に踏み切り、約1年ぶりとなる新作「戦国フロンティア」を6月にリリースしました。「戦国フロンティア」は当社の経営資源を集中投下したこともあり、月商1億円を超えるヒットゲームとなりました。このヒットを受け、外部の開発会社を使い派生ゲームを量産しましたが、外部委託をしたことで当社の強みが活かしきれず、派生ゲームはヒットに結び付きませんでした。既存のゲームにつきましては、スマートフォン普及によるブラウザゲームの利用者数減少の影響を受け、売上の成長が止まりました。そこで、イベント運用に力を入れるとともに、スマートフォンをお使いのユーザー様にもストレスなく遊んでいただけるように、利用環境の改善を進めました。このような対応の結果、ユーザー様のご愛顧に支えられ一定の収益規模を保つことができました。

「ソーシャル」×「広告」領域では、動画を使った広告の拡大を目指し営業努力を続けたことで、動画広告の掲載メディアと広告主が順調に増加しました。動画を使用した広告を視聴すると、商品を購入する割合が通常のリワード広告よりも高くなるということが、様々な商材で実証されてきています。

「ソーシャル」×「教育」領域では、第二弾となるアプリ「グルタン 英単語で世界周遊」を7月にリリースしました。ユーザー動向の調査やイベント施策の仮説検証を行っております。

全社的な観点としては、体制の強化に伴いコスト構造を見直し、余分なコストを絞る動きを進めました。また、スマートフォンの急速な普及に対応するため、社内教育体制の整備をはじめました。

### 下期の取り組みをお聞かせ下さい

下期は来期の成長に向けた投資の期間と位置付けています。「ゲーム」領域では、外部委託したヒット作派生ゲームが支持を得られなかった経験から、下期の新作は内製のみとする方針です。これによりリリースする本数は少なくなります。確実なヒットを狙います。ソーシャルゲームを取り巻く環境に対しては、スマートフォンの普及が続くなか、対応に一層力を入れ、より遊びやすいゲームの提供を目指して参ります。この下期は、スマートフォンの普及によりサービス提供の形態も変わっていくことが予想されます。そこで、まずは当社の強みであるユーザー集客のための広告出稿ノウハウを更に強化し、来期に向けて新しい市場に参入する準備をします。また、今年度下期には複数のゲームがリリースから丸2年を迎えることとなります。リリースしてからもゲームの面白みを追求し、イベントなどを通じてサービスの質を高めてきたことで、多くのユーザー様に長く使っていただくゲームになったと感じています。このような、当社がこれまでに培ってきた運用ノウハウは市場がスマートフォンの環境に移行した後も活かせると考えており、来期の成長に向けて、さらなる品質の向上を目指します。

「広告」領域ではポイントサイトとの接続を強化し、動画広告の視聴数を伸ばすことに注力します。ポイントサイト内で動画広告視聴のきっかけをどのように作るかが重要になりますので、カジュアルなゲームを組み込み視聴につなげる仕組みを検討しています。ここでは、ソーシャルゲーム事業の開発・運用ノウハウを活用する予定です。

「教育」領域では第三弾のリリースに向けた企画、開発に取り組みます。第一弾、第二弾アプリで行ってきた仮説検証の結果を反映したアプリを下期中にリリースする予定です。

### 中期に向けた取り組みについてお聞かせ下さい

当社の戦略であります「ソーシャル」の概念と掛け合わせ、フリーミアム型のビジネスを模索していく方針です。現在当社が提供しているゲームは基本的に無料でお使いいただけますが、サービスに価値を感じていただいたユーザー様からの課金収入により収益を得ており、当社の主軸事業に成長しました。「教育」領域でも無料提供を基本とした2アプリで実験をしていますが、ビジネスの形が徐々に見えてきています。中期に向けては、ゲームと教育以外のカテゴリー、例えば医療や旅行なども模索し、フリーミアムのビジネスモデルを幅広く実現していくことを目標としています。

今後も「インターネットサービスのものづくり企業」として、全社一丸となり事業の拡大と新規事業の立ち上げ、収益化に邁進してまいります。株主・投資家の皆様におかれましても、何卒、一層のご指導・ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

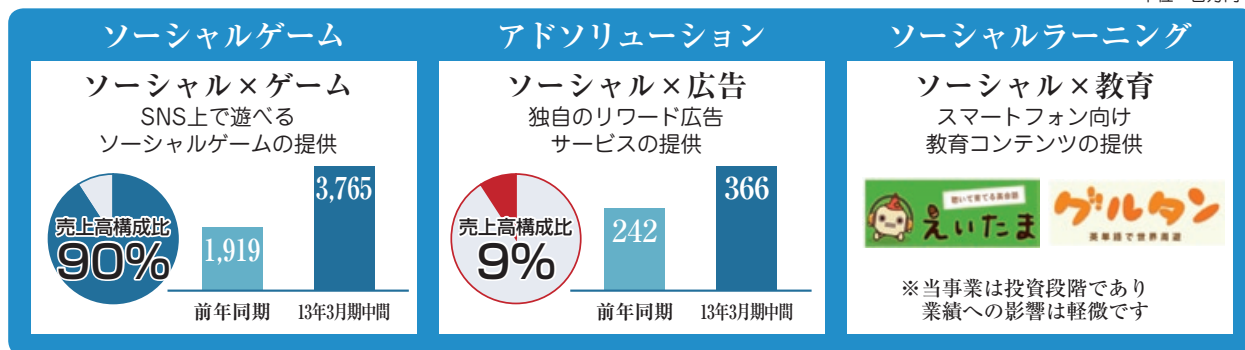


# 第12期（2013年3月期）の取り組み

## 事業の状況

ドリコムビジネスは、ソーシャルを軸とした3領域の事業で構成されています。  
ソーシャルゲームが売上をけん引する主力事業となっています。

単位：百万円



ソーシャルゲーム事業では海外向けゲーム「Reign of Dragons」の提供を開始しました。  
スマートフォンでの利用に適したカードバトル型のゲームです。



### リリース後の状況と今後の展開

2012年9月からカナダで実験を開始し、順調に推移しています。

今年度下期からは当社が従来型携帯電話向けゲームで培ってきたノウハウを活かし、アメリカ向けに提供を開始しました。

米国のリリースと同時にプロモーションを本格化し、ユーザーの獲得に努めています。

### 概況

当中間期における我が国経済は東日本大震災からの復興需要等により一部では回復の兆しが見られたものの、欧州債務危機問題への不安感による円高の持続や株式市場の低迷など、依然として先行き不透明な状態で推移致しました。

インターネットビジネスを取り巻く環境は引き続き急速に変化しており、中でもスマートフォンの普及が大きな影響を与えています。スマートフォンの登場により未開拓の市場がもたらされたことで、サービス提供の機会が増え新しいサービスが次々と創出されています。海外へのサービス提供が容易になったこともあり、今後も参入競争は激化し、収益獲得の機会は広がっていくものと見られます。

このような環境の中、ソーシャルゲームサービス事業ではヒット作「戦国フロンティア」のシステムを基にした新作を複数リリースしました。しかしながらユーザーの十分な支持を得られず、スマートフォンへの移行に伴うブラウザゲームの利用者減少も影響し、新作ゲームのDAU（一日あたりのサービス利用者数）は計画を下回る結果となりました。これを受け、スマートフォンでの利用環境向上にむけた改善を始めましたが、当中間期の対応は一部にとどまり、当初計画通りの利用者数獲得には至りませんでした。一方で減少傾向が見られた「陰陽師」「ちよこっとファーム」など既存ゲームの売上は底

入れし、堅調な推移となりました。費用面では、リリースの集中に合わせた体制強化が一段落し人件費の増加ペースが一巡した反面、新作リリース後は運用本数増加によるコスト増に加えソフトウェア償却費用が発生したほか、リリース集中にあわせ広告宣伝費を投下しました。

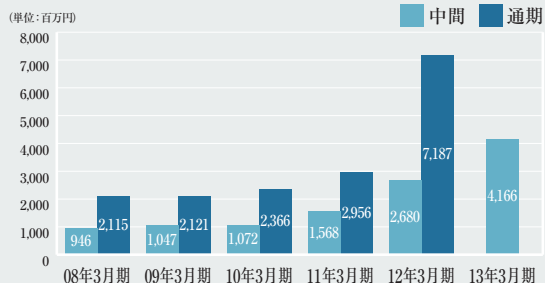
加えてアドソリューション事業では、動画を利用したリワード広告が好評を得、掲載メディアと出稿クライアント両面の拡大が進みました。これに伴い、仕入高や通信費などの売上連動費用が増加する結果となりました。

さらに、投資段階にあるソーシャルラーニング事業では、平成24年7月18日に二本目の学習アプリ「グルタン 英単語で世界周遊」をリリースしました。リリース後は利用者の動向を分析し、順次改善を進めております。

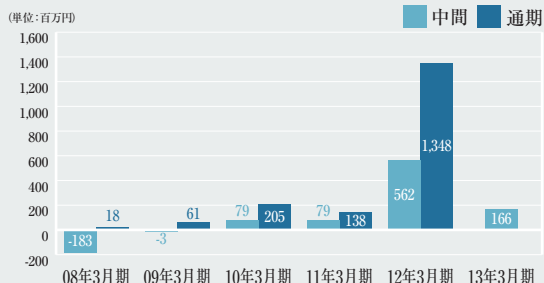
総じては、主軸のソーシャルゲーム事業で売上成長が当社想定以下となり、売上増を想定した体制強化による費用増を賅えず、前年同期比増収減益となりました。

以上の結果、当中間期の売上高は4,166,120千円（前年同期比55.4%増）、営業利益168,816千円（前年同期比70.1%減）、経常利益166,595千円（前年同期比70.4%減）、純利益93,078千円（前年同期比83.4%減）となりました。

### 売上高



### 経常利益



# 営業の概況

## 2013 Interim Business Report

### セグメント別の業績

エンタメウェブでは、ソーシャルゲーム事業において前四半期から提供している「戦国フロンティア」のゲームシステムを採用した新作を複数リリースしました。新作ゲームの利用者数が想定を下回ったことを受け、利用環境の最適化に努めましたが、当初計画通りユーザー数を伸ばすまでには至りませんでした。一方「陰陽師」「ちよこっとファーム」などの既存ゲームは堅調に推移いたしました。さらに、海外向けタイトルとしてカードバトルゲーム「Reign of Dragons」をリリースし、利用者拡大を目指し集客力強化にむけたテストマーケティングを行っております。複数の新作をリリースしたことから、当累計期間においてはアプリ本数増加に伴う開発コスト、運用コスト増加に加えて、一アプリあたりの収益を最大化するため広告宣伝費を先行投下しました。

ソーシャルラーニング事業においては、二本目のアプリとなる「グルタン 英単語で世界周遊」をリリースし利用環境

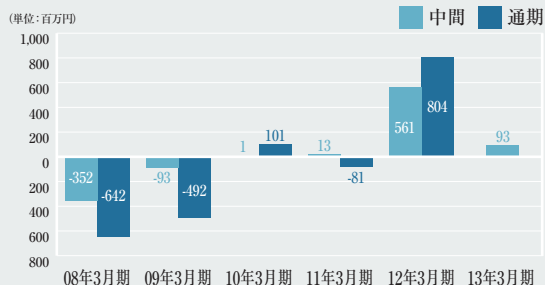
の改善に努めております。同事業は、現時点では投資段階にあり、業績への影響は軽微です。

以上のことから、セグメント売上高は3,765,836千円、セグメント利益は269,084千円となりました。

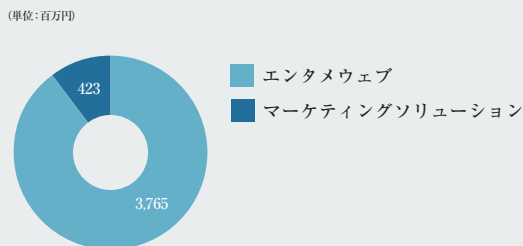
マーケティングソリューションでは、アドソリューション事業において、掲載メディアと広告出稿クライアント両面の拡大に努めた結果、動画を利用したリワード広告が好評を得、拡大が進みました。しかしながら視聴数の伸び悩みから売上の伸長は想定以下であり、掲載メディアの拡大に伴うシステムの相互繋ぎ込みに開発工数を要したこともあり、損失を計上する結果となりました。

以上のことから、セグメント売上高は423,124千円、セグメント損失は100,267千円となりました。

### 純利益



### セグメント別売上高



# 株式情報・会社概要

## 2013 Interim Business Report

### 株式の状況 (2012年9月30日現在)

発行可能株式総数	217,600株
発行済株式の総数	135,600株
株主数	2,484名

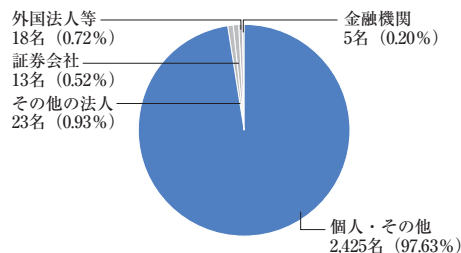
### 大株主 (上位10名) (2012年9月30日現在)

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
内藤裕紀	53,900	39.73
楽天株式会社	26,750	19.72
小上勝造	6,125	4.51
廣瀬敏正	5,445	4.01
井上陽平	4,560	3.36
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	3,638	2.68
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	3,038	2.24
田中忠雄	2,650	1.95
小柳 滋	950	0.70
齊藤雄介	800	0.59

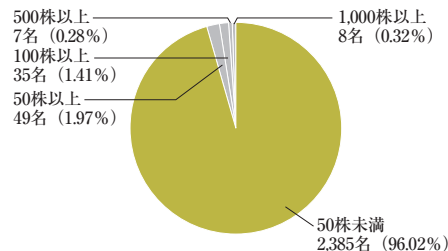
### 会社概要 (2012年9月30日現在)

商号	株式会社ドリコム
本社所在地	〒153-0064 東京都目黒区下目黒1丁目8番1号 アルコタワー17階
設立	2001年11月13日
資本金	1,060百万円
代表取締役社長	内藤裕紀
従業員数	203名
主な事業内容	ソーシャルゲーム事業 アドソリューション事業 ソーシャルラーニング事業

### ◆所有者別株主分布状況



### ◆所有数別株主分布状況



### 役員 (2012年9月30日現在)

代表取締役社長	内藤 裕紀
取締役副社長	菅 勇祐
取締役	川 勇夫
取締役	川 敬起
取締役	谷 敬三
取締役	安 敬二
常勤監査役	南 敬三
監査役	杉 本 志
監査役	青 木 理
執行役員	廣 瀬 敏
執行役員	前 田 充
執行役員	後 藤 英

(注) 1. 取締役安藤三氏は、社外取締役であります。  
2. 監査役南敬三氏、監査役杉本一志氏、監査役青木理恵氏は、社外監査役であります。

# 株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月開催
基準日	定時株主総会 毎年3月31日 期末配当金 毎年3月31日 中間配当金 毎年9月30日 そのほか必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日

## 【株式に関する住所変更等のお届出およびご照会について】

証券会社に口座を開設されている株主様は、住所変更等のお届出およびご照会は、口座のある証券会社宛にお願いいたします。証券会社に口座を開設されていない株主様は、下記の電話照会先にご連絡下さい。

株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人事務取扱場所 (郵便物送付先)	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 〒183-8701 東京都府中市日鋼町1番10 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)	☎0120-176-417 (※平成25年1月より郵便物送付先・電話照会先が変更となります。) 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 ☎0120-782-031 http://www.smtb.jp/personal/agency/index.html

(インターネットホームページURL)

## 【特別口座について】

株券電子化前に「ほふり」(株式会社証券保管振替機構)を利用されていなかった株主様には、株主名簿管理人である上記の三井住友信託銀行株式会社に口座(特別口座といいます。)を開設しております。特別口座についてのご照会および住所変更等のお届出は、上記の電話照会先をお願いいたします。

公告の方法	社のホームページに掲載する。 http://www.drecom.co.jp/ir/announcement/
上場証券取引所	東証マザーズ

## ホームページ/IR情報のご案内

当社に関する最新動向や情報をお伝えしております。



<http://www.drecom.co.jp/>

株主さま向け  
アンケート

## 株主の皆様の声をお聞かせ下さい

当社では、株主の皆様の声をお聞かせいただくため、アンケートを実施いたします。お手数ではございますが、アンケートへのご協力をお願いいたします。

下記URLにアクセスいただき、  
アクセスコード入力後に表示される  
アンケートサイトにてご回答下さい。  
所要時間は5分程度です。

 <http://www.e-kabunushi.com>  
アクセスコード **3793**

いいかぶ

検索



空メールによりURL自動返信

kabu@wjm.jpへ空メールを送信して下さい。(タイトル、本文は無記入)アンケート回答用のURLが直ちに自動返信されます。



携帯電話からもアクセスできます

QRコード読み取り機能のついた携帯電話をお使いの方は、右のQRコードからもアクセスできます。



●アンケート実施期間は、本書がお手元に到着してから約2ヶ月間です。

ご回答いただいた方の中から抽選で薄謝(図書カード500円)を差しさせていただきます



※本アンケートは、株式会社 a2media(エーツーメディア)の提供する「e-株主リサーチ」サービスにより実施いたします。(株式会社 a2mediaについての詳細 <http://www.a2media.co.jp>) ※ご回答内容は統計資料としてのみ使用させていただきます。事前の承諾なしにこれ以外の目的に使用することはありません。

●アンケートのお問い合わせ TEL:03-5777-3900(平日 10:00~17:30)  
「e-株主リサーチ事務局」 MAIL:info@e-kabunushi.com